

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	岡山県	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	岡山県文化遺産総合活用事業		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>「新晴れの国おかやま生き活きプラン（仮称）」（平成29年3月策定予定）及び「第2次岡山県教育振興基本計画」（平成28年3月策定）を踏まえ、県内の文化遺産の次世代への保存・継承や文化遺産を活用した地域活性化を推進するため、以下の取組を実施する。また、計画期間中の取組を通じて、行政と民間団体・文化財保護団体による連携・協力体制の確立を目指す。</p>			
6 実施体制			
<p>本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等は岡山県教育庁文化財課が行う。</p> <p>また、補助事業は次の団体が実施する。 岡山県民俗芸能大会実行委員会：おかやま民俗芸能フェスティバル ※H29休止 一般社団法人岡山県建築士会：岡山県地域文化財建造物専門家（ヘリテージマネージャー）育成事業</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 26,624 千円	平成29年度申請額： 565 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>事業実施により県民の文化遺産に対する関心が高まり、文化遺産の次世代への保存・継承及び地域の活性化が期待できる。</p> <p>また、ヘリテージマネージャーを育成することで、文化財保存活動の活性化が期待できる。</p> <p>さらに文化財保存団体と連携し、活動の情報発信を行うことで、観光客の増加も期待できる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	岡山県教育庁文化財課文化財保護班		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	伝統的建造物群保存地区関係への来場者数			関連事業 :	①	
目標値 1 :	平成 27 年度		4,915 千人	⇒	平成 33 年度 5,357 千人	
設定根拠 1 :	平成24年度から平成28年度までの倉敷美観地区ほか2地区の観光客数の伸び率9%維持を設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
千人	千人	千人	千人	千人	千人	
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	岡山県立博物館の年間入館者数			関連事業 :	②	
目標値 2 :	平成 27 年度		49,025 人	⇒	平成 33 年度 50,000 人	
設定根拠 2 :	6年で2%の入館者数増を目標とする。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	

